平成28年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年２月４日

上 場 会 社 名　鬼怒川ゴム工業株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　５１９６　URL　http://www.kinugawa-rubber.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）関 山 定 男
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　（氏名）高 橋 昭 夫　(TEL)043(259)3164
四半期報告書提出予定日　平成28年２月８日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成28年３月期第３四半期の連結業績（平成27年４月１日～平成27年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第３四半期	57,733	4.9	5,508	19.5	4,637	△11.9	2,678	△15.2
27年３月期第３四半期	55,037	△0.2	4,609	△15.8	5,263	△13.8	3,158	△15.0

(注)包括利益　28年３月期第３四半期 1,895 百万円（△56.3%）　27年３月期第３四半期 4,341 百万円（△20.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
28年３月期第３四半期	39.85	39.73
27年３月期第３四半期	46.99	46.89

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年３月期第３四半期	71,410	39,128	53.1
27年３月期	71,371	38,021	51.5

(参考)自己資本　28年３月期第３四半期 37,891 百万円　27年３月期 36,744 百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
27年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
28年３月期	―	6.00	―		
28年３月期(予想)				6.00	12.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	80,000	5.1	8,400	21.2	8,000	7.8	5,000	16.6	74.39

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　１社（社名）　鬼怒川橡塑(鄭州)有限公司、除外　—社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　有
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期３Ｑ	67,299,522株	27年３月期	67,299,522株
②　期末自己株式数	28年３月期３Ｑ	95,691株	27年３月期	85,787株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期３Ｑ	67,209,362株	27年３月期３Ｑ	67,217,821株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第３四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（セグメント情報等） ……10
※平成28年３月期第３四半期決算概要（参考資料）

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、５７７億３千３百万円と前年同四半期と比べ２６億９千５百万円（4.9%増）の増収となりました。

営業利益は、５５億８百万円と前年同四半期と比べ８億９千９百万円（19.5%増）の増益となりました。これは主にアジアでの売上拡大による操業度の増加や、原材料の現地調達化拡大、グローバル同一基準のモノ造り活動によるコスト削減、米州の収益改善活動による黒字化等によるものです。

経常利益は、為替差損の計上により４６億３千７百万円と前年同四半期と比べ６億２千５百万円（11.9%減）の減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、２６億７千８百万円と前年同四半期と比べ４億７千９百万円（15.2%減）の減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

［ 日本 ］

売上高は、軽自動車生産台数の減少や建設機械用部品の売上減等により、２９４億２千３百万円（前年同四半期8.2%減）となりました。営業利益は、生産性向上により利益率は改善したものの操業度の減少により、２４億４千３百万円（前年同四半期6.0%減）となりました。

［ 米州 ］

売上高は、メキシコでの売上拡大により、１０７億５千５百万円（前年同四半期19.5%増）となりました。営業利益は、生産性向上や材料歩留り向上等の改善活動効果により、６千３百万円（前年同四半期は５百万円の損失）となりました。

［ アジア ］

売上高は、中国での主要得意先の自動車生産の増加及び新規取引先向けの拡販により、１７５億５千４百万円（前年同四半期25.6%増）となりました。営業利益は、操業度の増加及び新拠点の収益改善等により、２９億９千９百万円（前年同四半期51.0%増）の大幅な増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が８億５千６百万円、受取手形及び売掛金が１０億８百万円減少したことなどにより、１２億７千７百万円減少の３５７億１千９百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて投資有価証券が１５億４千２百万円増加したことなどにより、１３億１千５百万円増加の３５６億９千万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて３千８百万円増加の７１４億１千万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金が１６億４千２百万円増加、未払法人税等が１１億２千万円減少したことなどにより、４億６千２百万円増加の２２６億８千５百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて長期借入金が１５億９千１百万円減少したことなどにより、１５億３千１百万円減少の９５億９千５百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて１０億６千９百万円減少の３２２億８千１百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が１９億１千７百万円増加、為替換算調整勘定が５億７千５百万円減少したことなどにより、１１億７百万円増加の３９１億２千８百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は５３億１千７百万円と、期首に比べて８億５千６百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が４５億３千８百万円、減価償却費１８億１千１百万円、売上債権の減少１５億８百万円、法人税等の支払額２７億５千７百万円などにより、３６億７千３百万円の増加（前年同四半期は１５億３千万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得２２億４千６百万円、投資有価証券の取得２１億５千３百万円などにより、４３億２千６百万円の減少（前年同四半期は３４億９千７百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の増加７億１千１百万円、配当金の支払額７億６千３百万円などにより、４千９百万円の減少（前年同四半期は２８億９千６百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年３月期の連結業績予想につきましては、平成27年11月５日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、重要性が増した「鬼怒川椽塑(鄭州)有限公司」を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号　平成25年９月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号　平成25年９月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第７号　平成25年９月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第１四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第１四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項（４)、連結会計基準第44－５項（４）及び事業分離等会計基準第57－４項（４）に定める経過的な取扱いに従っており、第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,173	5,317
受取手形及び売掛金	21,160	20,152
商品及び製品	1,521	1,424
仕掛品	1,357	1,136
原材料及び貯蔵品	3,004	2,957
その他	3,844	4,797
貸倒引当金	△66	△65
流動資産合計	36,997	35,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,617	5,416
機械装置及び運搬具（純額）	8,495	8,054
工具、器具及び備品（純額）	976	1,087
土地	10,786	10,690
建設仮勘定	1,270	1,935
有形固定資産合計	27,147	27,183
無形固定資産		
のれん	108	67
その他	470	610
無形固定資産合計	579	678
投資その他の資産		
投資有価証券	5,223	6,766
その他	1,467	1,104
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	6,647	7,828
固定資産合計	34,374	35,690
資産合計	71,371	71,410

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,828	9,146
短期借入金	6,762	7,469
1年内返済予定の長期借入金	630	1,565
未払費用	1,295	1,202
未払法人税等	1,533	412
賞与引当金	852	437
その他	2,319	2,451
流動負債合計	22,222	22,685
固定負債		
長期借入金	4,260	2,668
役員退職慰労引当金	42	41
退職給付に係る負債	4,382	4,298
その他	2,442	2,586
固定負債合計	11,127	9,595
負債合計	33,350	32,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,654	5,654
資本剰余金	849	849
利益剰余金	24,218	26,136
自己株式	△37	△44
株主資本合計	30,685	32,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	143
土地再評価差額金	2,616	2,616
為替換算調整勘定	4,058	3,482
退職給付に係る調整累計額	△751	△947
その他の包括利益累計額合計	6,058	5,295
新株予約権	87	112
非支配株主持分	1,189	1,124
純資産合計	38,021	39,128
負債純資産合計	71,371	71,410

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年12月31日）
売上高	55,037	57,733
売上原価	45,383	47,414
売上総利益	9,653	10,318
販売費及び一般管理費	5,044	4,810
営業利益	4,609	5,508
営業外収益		
受取利息	55	74
受取配当金	5	9
固定資産賃貸料	37	40
為替差益	735	－
スクラップ売却益	55	60
その他	123	48
営業外収益合計	1,013	233
営業外費用		
支払利息	175	144
持分法による投資損失	118	92
貸倒引当金繰入額	20	－
為替差損	－	853
その他	45	13
営業外費用合計	360	1,104
経常利益	5,263	4,637
特別利益		
固定資産売却益	0	7
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	79	1
建物解体費用	91	－
割増退職金	41	13
訴訟関連損失	－	91
その他	18	－
特別損失合計	229	106
税金等調整前四半期純利益	5,033	4,538
法人税等	1,806	1,755
四半期純利益	3,227	2,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	105
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,158	2,678

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	3,227	2,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	9
為替換算調整勘定	706	△663
退職給付に係る調整額	317	△196
持分法適用会社に対する持分相当額	34	△36
その他の包括利益合計	1,114	△888
四半期包括利益	4,341	1,895
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,217	1,914
非支配株主に係る四半期包括利益	124	△19

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,033	4,538
減価償却費	1,578	1,811
のれん償却額	41	41
貸倒引当金の増減額（△は減少）	58	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△64	△83
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2	△1
受取利息及び受取配当金	△61	△83
支払利息	175	144
有形固定資産売却損益（△は益）	△0	△7
有形固定資産除却損	79	1
持分法による投資損益（△は益）	118	92
売上債権の増減額（△は増加）	△1,961	1,508
たな卸資産の増減額（△は増加）	△251	266
仕入債務の増減額（△は減少）	792	△144
未払消費税等の増減額（△は減少）	163	△126
その他	△1,362	△1,466
小計	4,342	6,491
利息及び配当金の受取額	61	83
利息の支払額	△175	△144
法人税等の支払額	△2,697	△2,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,530	3,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,039	△2,246
有形固定資産の売却による収入	4	△16
投資有価証券の取得による支出	△691	△2,153
その他	228	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,497	△4,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,819	346
長期借入れによる収入	1,470	1,000
長期借入金の返済による支出	△691	△634
自己株式の取得による支出	△2	△6
配当金の支払額	△644	△719
非支配株主への配当金の支払額	△38	△44
その他	△17	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,896	△49
現金及び現金同等物に係る換算差額	130	△253
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,059	△955
現金及び現金同等物の期首残高	4,424	6,173
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	99
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,483	5,317

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成26年４月１日　至　平成26年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,065	8,997	13,975	55,037	―	55,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,341	37	437	2,816	△2,816	―
計	34,407	9,034	14,412	57,854	△2,816	55,037
セグメント利益又は損失(△)	2,600	△5	1,986	4,581	27	4,609

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成27年４月１日　至　平成27年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,423	10,755	17,554	57,733	―	57,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,886	17	302	2,206	△2,206	―
計	31,309	10,772	17,857	59,940	△2,206	57,733
セグメント利益	2,443	63	2,999	5,506	2	5,508

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の消去であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成28年2月4日
鬼怒川ゴム工業株式会社
コード番号　5196

参 考 資 料

平成28年3月期 第3四半期 決算概要

【連結決算】

1. 業績

（単位：百万円）

	当第3四半期累計期間実績（H27/4～H27/12）		前第3四半期累計期間実績（H26/4～H26/12）		増減	
売 上 高	57,733	100%	55,037	100%	2,696	4.9%
営業利益	5,508	9.5%	4,609	8.4%	899	19.5%
経常利益	4,637	8.0%	5,263	9.6%	△626	△11.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,678	4.6%	3,158	5.7%	△480	△15.2%
1株当たり四半期純利益	39.85 円		46.99 円		△7.14円	

2. 貸借対照表

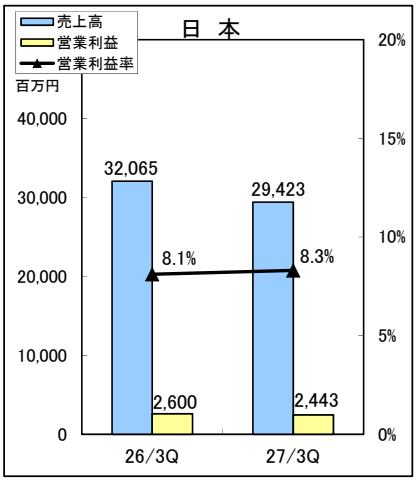
（単位：百万円）

資 産 の 部				負債・純資産の部			
科目	第3四半期	前期	増減	科目	第3四半期	前期	増減
流動資産	35,719	36,997	△1,278	流動負債	22,685	22,222	463
現・預金	5,317	6,173	△856	買入債務	9,146	8,828	318
売掛債権	20,152	21,160	△1,008	借入金	9,035	7,392	1,643
棚卸資産	5,518	5,884	△366	その他	4,503	6,002	△1,499
その他	4,731	3,780	951	固定負債	9,595	11,127	△1,532
				借入金	2,668	4,260	△1,592
				退職給付負債	4,298	4,382	△84
				その他	2,628	2,485	143
				（負債計）	32,281	33,350	△1,069
固定資産	35,690	34,374	1,316	株主資本	32,595	30,685	1,910
有形固定資産	27,183	27,147	36	資本金	5,654	5,654	－
無形固定資産	678	579	99	資本剰余金	849	849	－
投資その他	7,828	6,647	1,181	利益剰余金	26,136	24,218	1,918
				自己株式	△44	△37	△7
				評価・換算差額等	5,295	6,058	△763
				新株予約権	112	87	25
				非支配株主持分	1,124	1,189	△65
				（純資産計）	39,128	38,021	1,107
合計	71,410	71,371	39	合計	71,410	71,371	39

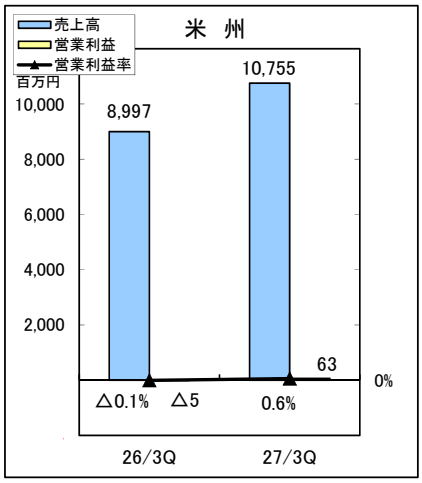
注）主なB/S指標

自 己 資 本 比 率	53.1%	51.5%	1.6%
総 資 本 回 転 率	1.1回	1.1回	△0.0回
総資本経常利益率	8.7%	11.2%	―
D E R	0.3倍	0.3倍	0.0倍

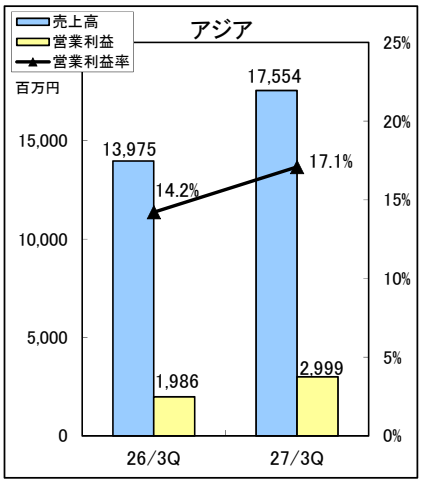
3. 地域別セグメント情報



軽自動車生産台数の減少や建設機械用部品の売上減等により減収、生産性向上により利益率は改善したものの操業度の減少により減益となった。



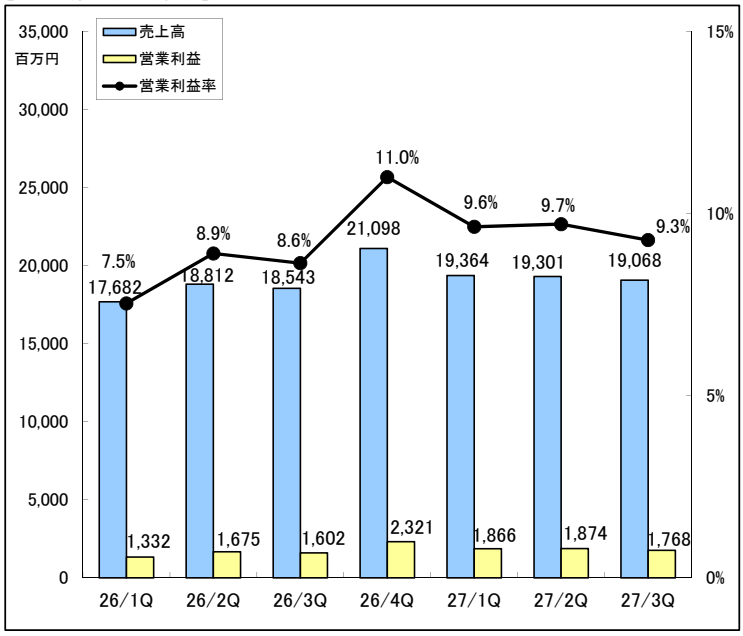
メキシコでの売上拡大により増収、生産性向上や材料歩留り向上等の改善活動効果により増益となった。（注）



中国での主要得意先の自動車生産の増加及び新規取引先向けの拡販により増収、操業度の増加及び新拠点の収益改善等により大幅な増益となった。

（注）海外子会社は決算日が異なるため平成27年1月～9月を連結し、重要な取引については連結上必要な調整を行っている。

[四半期業績の推移]



[当第3四半期の主な活動内容]

1. 短期収益の確保
- ベンチマーク拠点を目標にグローバル同一基準のモノ造りを目指した生産性向上
- 主要原材料の現地調達化率UPと現地調達化対象品目の拡大
- 短期集中の海外拠点支援活動による課題解決と自主自立型の現地人財の育成
- 新興国を中心に客先生産台数の増減に柔軟に対応するためのオペレーターの多能工化と生産体制の構築

2. 売上の拡大
- 米州における新規顧客からの車体シール、防振ゴム部品・ホース部品の受注拡大
- アセアンにおける欧米系、中国民族系メーカーへの車体シール部品の受注拡大
- 中国における既存設備を活用した建機・産機向けホース部品の生産体制の構築

3. 仕事の質向上
- 重点プロジェクト活動による改善活動
  ―遮音性能と静粛性能を機軸とした製品開発による製品価値の向上
  ―グローバルでのモノ造り重点活動
  現場管理体制の構築（工長の1日実践）、生産管理体制の構築、品質不具合の未然防止(4M総点検)